

みるみる! 31/やるん

年号の話

明けましておめでとうございます。

小淵恵三氏が「平成」の二文字を掲げたあの日から丸30年、今年が平成が終わり、5月1日から新しい年号を迎えます。年号とは、国家元首などが代替わりするたびに新たに年を数える制度を言います。日本は1300年以上前に、海外に倣って年号を使い始めました。しかし、現在でも年号を使用している国は、なんと日本だけだそうです。海外からは「まだそんな伝統が残っているなんて!」と驚かれるようです。

この記事を書いている2018年11月末現在、インターネット上では新年号の予想が(冗談も交えて)盛り上がっていますので、いくつか紹介します。

- ①多く見られる予想……安久(あんきゅう)、栄安(えいあん)、富志(ふじ)、桜花(おうか)
- ②世相反映型……羽生(はにゅう)、忖度(そんたく)、税込(ぜいこみ)、熟年(じゅくねん)
- ③キラキラネーム型……平成第二楽章(へいせいセカンドシーズン)、昇龍(ライジングドラゴン)、文春(センテンススプリング)

今回は特例法により、早めに新年号の名称が発表される可能性があるため、この「はなみずき新春号」を皆さまが読む頃には、248番目(?)となる新年号は周知のものとなっているかもしれませんね。

正解はあったでしょうか?(^^)

今年もよろしくお願いいたします。

(文/看護師・小野)



お知らせ

新年会

1月上旬

平成31年も4月末までとなり、5月から新年号となりますが皆様の1年がご多幸となりますように祈願しながら各病棟を獅子舞が練り歩きます。日程の詳細は決定次第、院内ポスターでお知らせをいたします。お楽しみに。

※上記内容は諸事情に因り予告無く変更となる場合があります。判り次第、院内ポスター掲示及び当院ホームページ上でお知らせ致しますのでご理解ご了承ください。

編集後記

あけましておめでとうございます。

新春のお慶びを、心より申し上げます。

平成最後……の暦も、残すところ少となりました。

最後の1枚をめくる時……目を閉じて、ゆっくりと、平成と言う時代で起きた事を思い浮かべてみては如何でしょうか……。

また、ご高齢になられても公務を遂行してこられた天皇陛下には、

感謝の意を表したいと思います。(文/看護師・古澤)



◆地域の皆様と所沢ロイヤル病院を結ぶ広報誌



はなみずき



新春号

平成31年1月1日発行

vol. 53

発行 所沢ロイヤル病院 広報委員会 はなみずき編集部
〒359-1152 埼玉県所沢市北野三丁目1番地11
医療法人 啓仁会 所沢ロイヤル病院
TEL: 04(2949)3385 FAX: 04(2949)7872
ホームページアドレス http://www.tokorozawa-loyal.jp

〈病院理念〉私たちは安全で良質な医療、心のこもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。

大久保院長より新年のご挨拶

新年明けまして おめでとうございます



いよいよ天皇陛下の御退位の年を迎えます。平成の三十年間を思い起こすと、まず当時の官房長官だった小淵恵三さんが、記者会見のテレビで、色紙を掲げて、「新しい元号は『平成』であります。」と発表した姿を鮮明に覚えています。長いようで、あっという間に過ぎた三十年でした。

少子高齢化が急速に進み、医療費、介護福祉費の増大など、今の医療・介護制度の継続、維持も大きな問題となってきています。限られた医療資源を、より有効に使っていく必要があります。医療、介護の面でも、包括的な地域ケアの構築が喫緊の課題です。

当院においては、平成29年10月より「地域包括ケア病棟」新設し、地域のクリニックの先生方や、急性期病院との連携を更に進め、全療養病棟においても退院支援を強化し、患者様が、一日でも早く回復され、地域に戻られるようリハビリなども積極的におこなう、多職種による医療体制を推し進めています。

今年も、所沢ロイヤル病院は、地域の皆様から更に信頼される病院として努力を続けてまいりますので、よろしくお願いいたします。



《砂川看護部長より新年のご挨拶》

「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」の実現に向かって

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、地域包括ケアシステムの構築が加速する中、当院が担うべき役割もより明確になり、地域連携や退院支援など多くのことが目に見える形で動き始めました。皆様には多岐にわたりご理解とご協力を頂きましたことに深く感謝申し上げます。引き続き看護の将来ビジョンである「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」を実現するために、チーム医療・多職種連携をさらに強固なものとし、患者様が退院後も安心してお過ごしいただけますよう支援に努めてまいります。

今年の干支は「亥」、東京オリンピックを目前に控え駆け抜けるように1年が過ぎていくと思いますが、「猪突猛進」ではなくしっかりと状況を見定め「熟慮断行」で行動したいと考えます。

2019年が皆様にとりまして、希望に満ちた穏やかな一年でありますように心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



第6回 埼玉石心会×所沢ロイヤル病院 健康講座を開催しました!

この度、11月15日(木)に地域の皆様への医療情報提供を目的とした健康講座を埼玉石心会病院様の後援のもと開催いたしました。

今回の演題は、以下のとおりです。

第1講演：埼玉石心会病院 循環器内科 副部長 小路 裕 先生による

「足の動脈硬化 ～下肢閉塞性動脈硬化症～」

第2講演は、私たち 所沢ロイヤル病院 リハビリテーション科 訪問リハビリテーション室 森 悦子(理学療法士)・歌代怜美(理学療法士)・日下るり子(理学療法士)による

『お家でできる簡単な循環改善・予防の工夫』を講演いたしました。

今回、埼玉石心会病院の小路先生が体の循環についてのお話をしてくださいました。訪問リハビリテーション科のスタッフとして、予防するにはどうしたらよいか、どんなことを心掛けたほうがいいのか、自宅ではどのような運動が効果的なのか等をテーマとし、自宅にある身近な物や100円ショップで購入できる物を使用して体の循環を整えて健康管理をして頂くきっかけになればと思い実演を踏まえながらお話させて頂きました。

当院では、今後も地域の皆様へさまざまな情報を提供させて頂きたいと考えております。ご意見やご要望がございましたら、お気軽にご相談ください。(文/訪問リハビリテーション室・森)



講演をされる小路裕先生



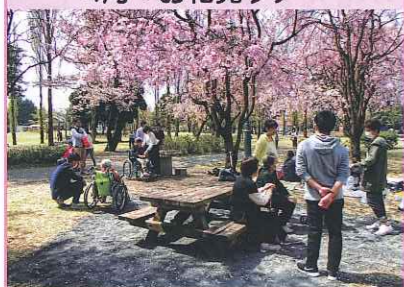
演者の森悦子理学療法士



回復期リハビリテーション 年間行事について

当院回復期リハビリテーションでは、目的を持って屋外への外出を含めたイベントを行っています。

4月：お花見ツアー



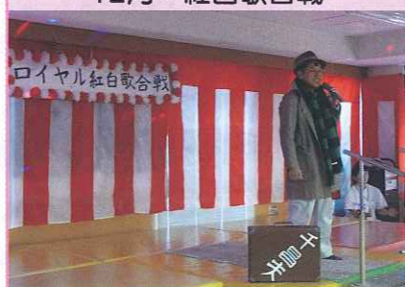
稲荷山公園などのお花見スポットへバスや車で向かい、到着後は散策をします。

6月・11月：お買い物ツアー



バスや車に乗り、イオン入間店へ向かいます。好きなものをご購入、フードコートで食事をします。

12月：紅白歌合戦



リハビリ室を会場とし、舞台やプロジェクター、カラオケセット、観客席を設置。患者様やスタッフから歌手を募集し、対抗戦を行います。

入院生活中の屋外への外出は患者様にとっても刺激があり、気分転換の場にもなると思います。退院後の生活を見据えた外出訓練や社会参加の場としても共有でき、患者様のリハビリのモチベーション向上の機会にもなると考えています。この他にも、季節を感じられるような些細なイベントも行っています。今後も患者様の笑顔を想像しながら、様々なイベントを企画し、盛り上げていきたいと思っております。(文/リハビリテーション科・松本)

● 第6回 地域連携交流会を開催しました (文/総務課・澤田)

この度、11月22日に地域の介護福祉関連事業者の皆様を一堂に会して、地域連携交流会を開催いたしました。

高齢化社会での医療・介護業界は凄まじいスピードで変化を求められております。患者様やご家族様が医療・介護の不安無く生活を送るためには、スムーズな地域連携医療が不可欠です。地域に密着した地域連携を行うべく、当院では多くの介護福祉関連事業者様と広く意見交換する場を様々なテーマでもって開催させて頂いております。

今回は、下記のテーマについて取り上げました。

『療養病棟における在宅への退院支援』 ～患者さまが在宅復帰後も、安心できる地域をつくるために～

テーマにもあるように、病院の退院支援に関係するスタッフと地域の介護福祉関連のスタッフ様と一緒にグループディスカッションを中心にお互いが入院してから退院までをスムーズに支援するためについての問題点や改善点についての意見が多数でした。

当院として、早速改善できる事は取り掛かり、退院支援に役立てております。

今後も地域の皆様のご関心があるテーマを取り上げ、積極的な意見交換を通じて連携強化を図り、地域社会に貢献してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



グループディスカッション風景